

普連土学園校友会報

第111号

令和6年(2024年)7月31日

発行：普連土学園校友会
住所：〒108-0073 東京都港区三田 4-14-16
E-mail：friends@f-koyukai.com

責任者：松浦 栄子
TEL：03-3451-7700
FAX：03-3451-1959



その後、
学園に伺
うたがに
不思議と
この気持
ちに駆ら
れてしま

私は建物に興味があり中世ヨーロッパの教会を巡る旅に出かけた時のことですが、アントワープにある聖母大聖堂の椅子に座っていると懐かしい故郷に戻ってきたようなノスタルジーな気分となり、その「心地よい空間」について長居をした思い出があります。

初めて普連土学園（以下学園）を訪れたのは遡ること二十数年前の長女の学校説明会だったと記憶しています。清々しい初夏の日だと思いますが、光を浴びて美しく輝く新緑に包まれた中学校舎を見学すると聖母大聖堂を訪れた時に似た「心地よい空間」を感じ、

学園理事長就任にあたって

普連土学園理事長 山本 将人

総会
ホームカミング・同窓会
校友会ってなに？
新任幹事紹介
関西フレンド会

います。学園との関わりはむしろ長女が卒業してからであり後援会長、理事会監事を歴任した後、昨年5月に学園理事長を拝命いたしました。

これまで大手化学メーカーに勤務し定年退職を機に関係する総合商社系物流事業会社の医薬品物流コンサルタントに従事していますので言わば二刀流です。教育の世界とは縁遠い道を歩んできた私に求められるものは、企業のビジネス感覚をバランスよく取り入れた学校経営を進め学園の発展に貢献することと考えています。

さて、今年のお首都圏私立中学入試は過去最高の受験率を続伸し、まさにブームといえる加熱ぶりですが、一方で志望校の二極化が進行し昨年の中学入試では学園の受験者数が激減いたしました。今年は偏差値中堅校に人気が集まりました影響もあり、受験者数は回復した

ものの楽観できる状況にはほど遠く学園の改革が急がれます。先ずは受験者数激減の大きな要因としてホームルームが過密であるとの指摘を受け、4クラス展開に対応する校舎新築に向けた委員会を立ち上げました。さらに「塾」に学園のイメージ調査をしたところ想像以上に認知度が低いという結果を踏まえ広報活動に重点を置き、高大連携をはじめ様々な施策を打ち出すことで競合他校との差別化を進めているところです。

最後に、私たちの学園は「普連土学園の葉」に書かれているように「Let Your Lives Speak」をモットーにあらゆる権威・伝統からの「自由」、神の前での「平等」、粘り強い「対話」、絶対的「平和主義」という普遍的な価値観を共有する共同体です。生徒には対話を通して異質なものに対する寛容な態度を養い、誠実で成熟した人間に成長してほしいと願っています。

これからの学園の運営にご理解とご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

2024年度

校友会総会

6月1日(土)
11時～12時30分
新渡戸稲造
ホール(講堂)
●席者
74名

2024年度校友会総会は、6月1日(土)母校の講堂で行われました。議案は全て承認されました。

司会 副会長 進藤 玲子
奏楽 酒井 恵生
礼拝 会長 松浦 栄子
讃美歌 312番

聖書「コヘレトの言葉」

旧約聖書 第4章9節

普連土学園理事長挨拶 山本将人

学園は今、様々な改革を進めています。改革の大きな柱に150周年記念事業として校舎の整備事業を据え、建築委員会を立ち上げ「140周年記念館新築計画」のスタートを切りました。中学校を少人数4クラス制として充実した教育を行うため、体育館・特別教室・セミナー室を充実し、教育理念である「対話」が生まれる場所を設けることを設計のコンセプトとしています。建築家・大江宏設計の中学校舎と共存しながらこれからの時代に対応する新校舎建築

計画に、校友会の皆様のご理解とご支援を宜しくお願い致します。

普連土学園理事長挨拶 畠中ルイザ

山本理事長からは未来について、私からは過去について皆様にお願ひです。同窓会などの集まりの際に、学生時代の思い出を語り合い、その内容をまとめて学園の史料室に寄せて下さい。当時の写真や資料を添えできればデータで、もちろん手書きでもありがたく頂きます。どうぞ宜しくお願い致します。

学事報告 校長 青木 直人
改革のひとつとして海外研修の機会も充実させています。イギリス研修のジョージ・フォックススニア、アメリカ研修は昨年度、米国最古の女子大マウント・ホリヨークカレッジでした。カンボジア研修には代表4名が参加、そして来年1月末から4月初めにかけて高校生6名がニュージーランドの公立共学校へタム留学を予定しています。

事務会議事

司会 副会長 進藤 玲子

2023年度年次報告

総会 6月3日 11時

校友会バザー 11月25日

中学校舎2階フロア

クリスマス礼拝 12月2日 11時

講師 後宮敬爾牧師

「クリスマスを祝うこととは」

A音楽室・親睦会 ローズホール

出版「会報」109号・110号

発行

・お祝い贈呈

4月 新人生(136回生)

校章入りタオル

9月 傘寿祝い(68回生)

絵葉書セット

3月 卒業生(131回生) 小楸紗

2023年度会計決算報告

会計 小松 弘美

2023年度会計監査報告

会計監査 谷川理美子

2024年度年次計画

副会長 進藤 玲子

総会 6月1日 11時

校友会バザー 11月23日

中学校舎2階フロア

クリスマス礼拝 12月7日 11時

講師 山本幸子先生(68回生)

A音楽室・親睦会 ローズホール

出版「会報」111号・112号

発行

・お祝い贈呈

4月 新人生(137回生)

校章入りタオル

9月 傘寿祝い(69回生)

絵葉書セット

3月 卒業生(132回生) 小楸紗

2024年度会計予算

会計 小松 弘美

役員改選

指名委員長 富山 恵子

(再任)書記片倉三絵子(91回生)

(再任)監事石川 文子(79回生)

指名委員交代

(新任) 徳王 好恵(100回生)

(退任) 斉藤知恵子(85回生)

▼総会の最後にコーラスの会

「聖坂Friends」の演奏があり、時には愁いを含み、時には美しいハーモニーで、そして楽しい合唱でした。



普連土学園校友会2023年度収支決算書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

■収入の部 (単位: 円)			
科目	予算金額	決算金額	備考
在校生会費収入	4,272,000	4,244,000	高校生校友会費(353.6名)
卒業生運営費収入	5,000,000	5,049,500	校友生納入分(¥2,500×2,019口、¥2,000×1口)
バザー収入	300,000	835,910	
奉仕活動協力金収入	100,000	122,360	幹事会時献金 他
クリスマス献金収入	0	141,521	クリスマス献金
寄付金収入	0	112,500	
寄附金収入	0	7,720	タオル、給ハガキ代
受取利息	25	7,37	預金利息
収入計	9,672,025	10,513,548	
■支出の部			
科目	予算金額	決算金額	備考
総会費	100,000	54,900	会場設営費 他
諸人会費	100,000	86,899	幹事会お茶菓子代 他
人件費	1,200,000	1,087,200	事務手当 他
委員会活動費	150,000	153,846	
ホームカミング費	0	0	
通信費	2,000,000	1,959,064	会報109号・110号、幹事会・総会連絡費 他
印刷費	900,000	843,302	会報109号・110号、総会案内 他
消耗品費	200,000	147,337	事務用品 他
光熱水費	360,000	360,000	
文通費	400,000	276,670	
電話料	300,000	286,464	電話、FAX通信料、ネット回線使用料
慶弔費	500,000	391,545	卒業祝、お悔やみ花カード 他
支部連絡費	60,000	60,000	関西支部
バザー関連費	0	304,872	バザー販売品仕入れ
クリスマス礼拝	150,000	134,499	お花代、親睦会費用、講師謝礼 他
奉仕活動費	200,000	200,000	女性の家ヘルプ、CFJ
学園宗教学会への献金	0	141,521	クリスマス献金
同好会補助費	130,000	101,346	
支払手数料	450,000	381,683	運営費の振込手数料 他
ホームページ関連費	0	372,540	HP作成・更新料
リース料	800,000	740,208	機器リース及び保守代
雑費	20,000	1,375	カード年会費(Zoom用)2024年度解約予定
基本金積立	1,000,000	1,000,000	校友会活動維持のため
特別積立	2,000,000	2,000,000	学園への寄付積立
奨学金積立	0	0	
予備金	500,000	0	
預り金	0	0	
支出計	11,520,000	11,085,271	
差引額(収入-支出)	△1,847,975	△571,723	
前年度繰越金	6,792,357	6,792,357	
次年度繰越金	4,944,382	6,220,634	

会計監査の結果、適正であることをご報告いたします。
2024年5月16日 監事 石川 文子 印
谷川 理美子 印

2023年度特別会計収支決算書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

収入 (単位: 円)				支出 (単位: 円)			
科目	金額	科目	金額	科目	金額	科目	金額
●基本金積立(校友会積立金)							
前年度繰越金	27,575,917						
経常費より	1,000,000						
利息	233	次年度繰越金	28,576,150				
合計	28,576,150	合計	28,576,150				
●特別積立(学園への寄付金積立)							
前年度繰越金	24,481,209						
経常費より	2,000,000						
利息	207	次年度繰越金	26,481,416				
合計	26,481,416	合計	26,481,416				
●奨学金積立							
前年度繰越金	14,816,744						
奨学金返済	170,000	次年度繰越金	14,986,744				
合計	14,986,744	合計	14,986,744				

普連土学園校友会2024年度予算書

(2024年4月1日～2025年3月31日)

■収入の部 (単位: 円)			
科目	予算金額	備考	
在校生会費収入	4,284,000	高校生校友会費 357名	
卒業生運営費収入	5,000,000	校友生納入分 ¥2,500× 2,000口	
バザー収入	1,000,000		
奉仕活動協力金収入	100,000	幹事会時献金 他	
クリスマス献金収入	0		
寄付金収入	0		
寄附金収入	0		
受取利息	25	タオル・コピー・タックシール・施設使用料 他	
収入計	10,384,025		
前年度繰越金	6,220,634		
合計	16,604,659		
■支出の部			
科目	予算金額	備考	
総会費	100,000	会場設営費 他	
諸人会費	100,000	幹事会お茶菓子代 他	
人件費	1,200,000	事務手当 他	
委員会活動費	200,000		
ホームカミング費	0		
通信費	2,000,000	会報111号・112号、幹事会・総会連絡費 他	
印刷費	900,000	会報111号・112号、総会案内 他	
消耗品費	200,000	事務用品 他	
光熱水費	0	2023年度をもって学園へ支払い終了	
文通費	400,000		
電話料	300,000	電話、FAX通信料、ネット回線使用料	
慶弔費	500,000	卒業祝、お悔やみ花カード金 他	
支部連絡費	60,000	関西支部	
バザー関連費	600,000	バザー販売品仕入れ	
クリスマス礼拝	150,000	お花代、親睦会費用、講師謝礼 他	
奉仕活動費	200,000	女性の家ヘルプ、CFJ	
学園宗教学会への献金	0	クリスマス献金	
同好会補助費	180,000		
支払手数料	450,000	運営費の振込手数料 他	
ホームページ関連費	200,000	ホームページサイト管理、修正	
リース料	800,000	機器リース及び保守代	
雑費	20,000		
基本金積立	1,000,000	校友会活動維持のため	
特別積立	2,000,000	学園への寄付積立	
予備金	500,000		
支出計	12,060,000		
次年度繰越金	4,544,659		
合計	16,604,659		

2024年度特別会計予算書

(2024年4月1日～2025年3月31日)

収入 (単位: 円)				支出 (単位: 円)			
科目	金額	科目	金額	科目	金額	科目	金額
●基本金積立(校友会積立金)							
前年度繰越金	28,576,150						
経常費より	1,000,000						
利息	150	次年度繰越金	29,576,300				
合計	29,576,300	合計	29,576,300				
●特別積立(学園への寄付金積立)							
前年度繰越金	26,481,416						
経常費より	2,000,000						
利息	100	次年度繰越金	28,481,516				
合計	28,481,516	合計	28,481,516				
●奨学金積立							
前年度繰越金	14,986,744						
返済	0	次年度繰越金	14,986,744				
合計	14,986,744	合計	14,986,744				



講演中の松井弘子氏

講演
日本キリスト教婦人矯風会常任
理事・女性の家「HOME」施設長
松井 弘子
「女性の家HOME」は困難を抱
えた女性の緊急避難センターとし
て、入所された方々が本来持つて
いる力を取り戻す支援をしていま
す。
普連土との縁は深く、その設立・
活動には校友生の斉藤徳子さん
(48回生)、保坂妙子さん(48回生)
も携わられ、校友会と学園宗教委
員会からは40年間寄付をしていた
だいでいます。そのご支援とお祈
りに心からお礼申し上げます。

第6回

ホームカミング

2024年3月2日
110・111・112回生

<プログラム>

- ・礼拝 校長 青木 直人 先生
- ・開会挨拶 島中 ルイザ 先生
- ・クイズ「オールスター普連土祭」
- ・普連土の今を知る 大井 治 先生
- ・歓送
- ・ハレルヤ、沈黙、校歌
指揮 水上 まり(112回生)
伴奏 五十嵐 千恵(112回生)
- ・閉会挨拶 島中 ルイザ 先生
- ・校内ツアー(希望者)

ホームカミングは「多くの卒業生を一気に学園に呼び戻し、それぞれが卒業後に育んだ経験や体験を学園に還元する」を趣旨として2015年にスタートし、以後毎年行われてきました。

2020年、100・105・110回生を対象に予定していた第6回がコロナ禍の為やむなく中止。再開の目処がたつた昨年、ちょうど95・109回生までは一通り済んだ節目だったこともあり、対象グループをこれまでの5学年毎に離れた3学年から、1学年違いの3学年に組み替え、第6回は110・111・112回生対象に開催することになりました(島中ルイザ先生より)。

準備は島中先生からの呼びかけで昨年9月に各学年幹事がホームカミングの幹事を募集、23名の幹事が集まりました。Zoomでの相談、月1回の学園での会合を通して開催に至り、当日は130名が参加しました。

次回は113・114・115回生対象での開催を予定しています。幹事を募集しますので、今回の幹事体験談を読んでも興味を持った方は校友会事務局までご連絡を！

E-mail: friends@fkoyukai.com

ホームカミングの記事作成に当たっては内田麻紀子さん(110回生)にご協力いただきました。

70
回生

最後の同窓会

2024年4月17日、帝国ホテルのレストランでクラス会を催しました。

今年、70回生は傘寿となり、全体で集まる最後のクラス会と通知したためか、長野から駆け付けける方もいて、出席者は25名となりました。テーブル毎に話がはずみ、楽しい会食の時間でした。

(赤石智子)

92
回生

いろいろ楽しく
企画しました！

同窓会を
ひらきました

会報107号を見て、「浜野先生

が学園にいらっしやる間に！」と、2022年11月、中学校舎第一会議室でプチ同窓会を開催いたしました。急なご案内にも関わらず浜野能男先生、鳥羽博先生、田中滝絵先生と92回生16名が集まり、10年ぶりに懐かしいひと時を過ごしました。



集まればあの頃と同じ笑顔が輝きます



2022年11月第一会議室(旧職員室)

幹事の言葉

私たち幹事は「普連土に恩返しをしたい」をテーマに、楽しみながら学園と校友生を繋ぐホームカミングを企画しました。きつとみんなが楽しみにしていた先生方との再会、礼拝、ハレルヤコーラス、讃美歌、校歌。卒業から約20年を経た今の普連土学園と110・111・112回生の現在を知るプレゼンテーションとクイズ。そして新校舎と懐かしい旧校舎の見学。当日参加した校友生130名のはじける笑顔や涙を幹事一同で喜び合いました。

「普連土学園の卒業生」であることを改めて誇りに思い、またまっすぐに歩む力をもらった一日になりました。
 (110回生 清水麻貴子)

卒業から20年が経ち、10代の少女だった私たちは逞しいアラフォーになりました。学園での日々は日常から遠いものとなり、それぞれの場所で別々の人生を歩んでいます。それでも私たちはみんな普連土学園という同じ土に根ざっていて、それは今後もきつと変わることはないのだと、ホームカミングに参加したことで実感できました。「光に歩めよ」

この言葉を胸に、一層逞しく前に進もうと思います。

(111回生 浅野美香)

第6回ホームカミングの準備は、在学時は名前さえ存じ上げなかった先輩や、ほとんど関わりがなかった同級生が集まり準備をしましたが、共通の思慮分別があるのに个性的な幹事の皆さんは、思いやりに溢れ、彼女たちの20年間の「生き様」を感じました。生き様を形成する考え方や振る舞いの基盤を、私たちは普連土学園で学んだのでしょうか。

(112回生 山田恵)



2023年3月伊藤文枝先生と

翌2023年、伊藤文枝先生のコラス部での指導最終日には多くの92回生も参加させて頂きました。

続いて同年の同窓会はフレンズセンターをお借りしました。前年に続き3名の先生方と25名が参加。東京都の登録有形文化財であるヴォーリズの名建築の中で、豊かで素敵なホームパーティーとなりました。

フレンズセンターはクエーカーの施設ですが、校友生の方



2023年11月フレンズセンター



趣のあるフレンズセンターに乗って下さり、この場をお借りして御礼申し上げます。
 (小倉晴子)



校友会は今、
日常生活を彩る
楽しいイベント
が満載です!!

2023年

▼6月3日 総会

▼7月8日 ミニ講演会

講師 南川 麻由子(弁護士)100回生
「同性婚訴訟〜結婚の自由と平等を求めて」

LGBT当事者が
直面している日本
の現状を知る良い
機会となった。



▼10月21日 ミニ講座

講師 中島 由佳 93回生

「縫わないがま口」
針と糸が苦手な方
も大丈夫!
色とりどりの布を
使い素敵ながま口が
完成。



▼11月25日 校友会バザー
▼12月2日 クリスマス礼拝

2024年

▼2月17日 ミニ講座

講師 宮澤 景子(シニアハーバ
ルセラピスト他)

「癒しと健やかさをもたらす
ハーブの楽しみ方」

ハーブの歴史、効能の話、おいし
いハーブティ
を飲み、オリ
ジナルティを作
り持ち帰った。



▼3月22日

「第6回ホームカミング」

▼3月16日 ミニ講演会

講師 押尾 雅代(スイス政府観
光局メディアマネージャー) 96回生
「スイスの仕事、スイスから学ん
だこと」

雄大な景観、文化、
言語の多様性、国
民の生活、考え方、
移民問題、ご自身
の仕事、学んだこと
と多岐にわたり興
味深い講演だった。



▼4月20日 ミニ講座

講師 海津 美弥子(フィットネ
スインストラクター他) 91回生

「のびのびスト
レッチ体操教室」

ストレッチ、骨粗
鬆症予防体操

▼6月1日 総会

▼7月20日 校友会のための大人
授業

講師 浜野能男(英語科)

「日本語ってどんな言葉? 英語を
通して日本語を考える」

▼10月26日 ミニ講座

講師 早乙女 まりか(アロマテ
ラピーンストラクター他)

「アロマテラピー講座」
アロマテラピーの基礎を学び、
オリジナルのアロマクラフトを
作る。

同好会 2024年度

▼手芸の会 第2土曜予定

刺繍、水引、パンチニードル他

▼コーラスの会 月2回火曜又は
金曜 曲は幅広いジャンルから

▼聖書の会 第2木曜13時

講師 山本 幸子(聖書科) 68回生

「聖書の学びとクエーカー学習」



131
回

新任幹事紹介!



お世話になった母校の
皆様に恩返しできるよ
う努めます。宜しくお
願います。(伊藤綾)



幹事として普通連土学園
のお役に立てるよう、
精一杯努めさせていただきます。
(佐藤 亜実果)



6年間通った普通連土学
園に再び関わられること
を嬉しく思います。ど
うぞよろしく願います。
(前田 麻妃)



卒業後も普通連土学園に
関わる事ができてとて
も嬉しく思います。
(安松 由理菜)



これからも普通連土と関
わりを持って、とて
も嬉しく思っています。
(木村 友香)



お世話になった普通連土
学園に少しでも恩返し
できるよう、精一杯努
めます。(中島 鈴鈴)

普連土だより 学校近況

第百八十二信

新入生132名を迎え新年度が始まりました。生徒たちの明るい声が響いています。会話のある昼食、実施されるか心配することもない宿泊行事など、今まで通りの学校生活が戻ってきました。

他愛のないと思っていた一つ一つのことを大切にしていきたいと思えます。

【新任】
 ☆常勤講師 国語科 小林小与里
 数学科 田代 優歩
 情報科 渥見 友章
 事務所 八木麻衣子

☆非常勤講師 数学科 金澤 常助
 理科 上野 永遥
 理科 隅山 雄介
 音楽科 廣中 梨紗
 技術科 竹市 昌平
 英語科 広田 善典
 英語科 シヤリンマツル
 聖書科 中島 聡
 聖書科 林 牧人
 ICT 浅井 強

☆専任教諭 教頭・音楽科 小澤祐理子
 数学科 大志万康代
 理科 田中真梨乃
 国語科 高橋 玲衣
 社会科 金澤 圭介
 情報科 庄司 正博
 英語科 プリヤンカチャラポルテ

☆常勤職員 事務所 梅森 愛美
 養護 西 麻衣
 ☆嘱託 国語科 蓮見 陽子
 数学科 松本 洵

☆非常勤講師 保健体育科 渋谷 妙子
 英語科 荒井有理江
 英語科 稲垣 智子
 英語科 新濃 智代
 英語科 山邊さおり
 聖書科 伊藤 義経
 聖書科 岡崎菜佳子
 (松浦良知先生記)

☆教頭へ 英語科 佐藤 知葉

関西フレンド会報告

102 回生 大森 幸織

初夏の陽光が眩しい5月21日、京都にて関西フレンド会の集いが行われました。東京からは松浦会長と進藤副会長にご参加いただき、75回生、116回生の関西フレンド会メンバーを合わせ計12名が集まりました。

食事の前に、京都迎賓館のガイドツアーに参加しました。建物は一見平屋建ての和風建築ですが、伝統的な数寄屋造りに現代建築の素材や技術を取り入れ地下設備も備えた「現代和風」建築となっています。落ち着いた緑色の屋根はガスタックの素材を使用している

と説明を聞いた時には意外な取り合わせに驚きました。内装は伝統技術の粋を極めたもので、各所に施された鍍金や鍔金具、蒔絵を施された調度品等、どれも素晴らしかったです。

日本の伝統と美意識を堪能した後、美味しいイタリアンのお店へ移動しお喋りを楽しみました。話題は、普連土学園や校友生の

近況報告、悩み相談、フレンドベア誕生秘話や制服のストラックス導入前の寒さ対策等次から次へと沸き上がり尽きることがありませんでした。長く勤められている先生が多いこともあり、在校期間が重ならなくても同じ先生の話題で盛り上げられるのも楽しかったです。

口ばかり達者な娘たちに囲まれ家事に追われていた私には、忙しい日常から離れリラックスして過ごすことが出来て本当に貴重で嬉しいひと時でした。

久しぶりの参加でしたが温かく迎えていただき感謝でいっぱいです。年代を超えて繋がることができ、また関西にしながら懐かしい普連土の雰囲気に触れられるこの会は私にとってとても有難いものです。

参加を躊躇っている方がいらっしやいましたら、ぜひ一度参加してみてください。きっと楽しいひと時を過ごすことが出来ると思います。



このページの内容についてのお問い合わせは、校友会事務局（03-3451-7700）まで。

校友会だより

◆校友会バザー

日時 11月23日（土）

11～14時

場所 中学校舎2階

フロア

◆校友会クリスマス礼拝

日時 12月7日（土） 11～12時

会場 A音楽室

講師 山本 幸子先生（聖書科）

68回生

礼拝後はローズホールで親睦会を開きます。皆さまの参加をお待ちしています。



運営費納入のお願い
2,500円が校友会を支えています

納入方法（いずれかを選択）
同封の払込取扱票で
①郵便局またはコンビニから払込み
②記載のバーコードでスマホ決済

秋草美奈子さんを偲ぶ



2023年12月4日、100回生の秋草美奈子さんが49歳という若さで天に召されました。

秋草さんは普通連土学園の卒業生として多方面から学園の為に貢献した方でした。12年半の長きに渡り学園の評議員、監事、理事をつとめ、また卒業生と学園を結ぶホームカミングを立ち上げ、多くの卒業生を学園に呼び戻す機会を作りました。学園への寄付金「種まきファンド」も創設メンバーとして尽力しました。

校友会では、2021年に校友会役員書記となりましたが、任期半ばで体調をくずされ闘病生活に入られました。しかし最後まで生きる希望を捨てなかつたと聞いています。

ここに感謝と共に、心からの哀悼の意を捧げます。

訃報

謹んでお知らせ申し上げます。哀悼の意を表します。

旧職員 山室美喜(美野)	12
44 大川 陽子(深山)	23
46 立花 直子(野村)	24
47 吉原喜美子(膳)	23
47 内田多恵子(富尾)	23
50 松坂 君江(武内)	23
50 服部 友子(入間野)	24
51 阿部久美子(伊佐)	17
51 平山 澄子(磯野)	23
51 石川 昭子(石井)	23
51 隈 宏子(深堀)	23
52 A 龍田 友子(栗崎)	23
52 B 原 鈴子(塚田)	23
52 B 村田千枝子(関)	23
53 平岩恵美子(近藤)	23
54 今泉ミヤ子(橋本)	24
55 大木 和子(伊藤)	24
55 伊藤みよ子(本郷)	24
61 引間 純子(鶴岡)	23
62 山田 照子(小島)	23
62 小島 京子(新松沢)	23
64 中川 和枝(小井)	23
65 西山 千恵(羽太)	23
66 鈴木 郁子(山梨)	24
69 亀岡 明子	23
74 鈴木きみゑ(中村)	24
78 藤本 雅子(藤本)	23
84 木村恵美子(野沢)	23
100 北村 笑子(吉宇田)	23
97 秋草美奈子	23

校友会より、お花とお悔やみカードをお送りしました。



◆後援会主催演劇鑑賞のお知らせ

2024年12月20日、100回生野口千英子さんが南信州の多彩なアーティストの方々と共に手がけられた、地元長野県の伝説の銘木に由来する舞台作品を上演します。

*詳細及び申し込みは同封のチラシと申込書をご覧ください。

◆住所登録・変更届のお願い

会報が届いていない方、住所、姓名に変更があった方は、QRコードから事務局にメールで届出が可能です。



◆校友会事務局の夏季休暇

7月23日（火）～9月2日（月）

編集後記

今春、鈴木郁子前出版委員長が天に召されました。出版の仕事をいつも楽しそうに心を込めてご奉仕くださいました。心より感謝しご冥福をお祈りします。猛暑の今夏。皆様どうぞお元気にお過ごしください。

(入江・森本・富山・大河内・佐藤・渡邊・石原・白樫・白井)

校友会ホームページはこちら。校友会報のバックナンバーもご覧いただけます。

